

## 平成 16 年度日本臨床化学会関東支部幹事会議事録

日時：平成 16 年 6 月 19 日（土） 11：30～12：30

場所：東京大学医学研究科教育研究棟 13 階セミナー室

出席者（敬称略）：橋詰（議長）、青木、芦原、池田、池谷、大久保、小川、笠原、亀井、桑、佐藤、須藤、関口、田中、戸谷、戸塚、富田、中原、中山、芳賀、星野、眞重、渡邊、篠（事務局）、渭原（事務局）

### 報告・協議

#### 1. 分科会運営委員会報告

・渡邊委員長よりプロジェクト研究（ALP の IFCC 法と JSCC 法の反応性および疾患特異性の調査比較：日本大学医学部附属板橋病院検査部、山舘周恒氏）について経過説明があった。同日の総会において山舘氏により報告発表が行われた。抄録を関東支部ホームページに掲載する。

・渡邊委員長より次年度予算に分科会運営委員会活動費（30,000 円）を計上したい旨の提案があり、全員一致で承認された。

・渡邊委員長よりプロジェクト研究の募集の範囲を、日本臨床衛生検査技師会（関東・甲信越）に広げ技師会誌に募集広告を掲載したい旨の提案があり、日本臨床化学会に入会して戴く必要があることが追加され、全員一致で承認された。中原委員より若手研究者育成の趣旨が良く分かるような広報活動をする必要がある旨の提案があった。

#### 2. 編集委員会報告

・大久保委員より 2003 年活動報告と 2004 年活動予定について報告がなされた。

##### ○2003 年度活動報告

・旧検査情報システム分科会からホームページの運営を引き継ぎ、2003 年 4 月 11 日に大幅なりニューアルを行った。

・関東支部ニュースレターの投稿規程と編集指針をホームページに掲載し、会員にメールアドレスの登録を呼びかけたうえ、創刊号から第 5 号までを電子発刊すると共に、バックナンバーをホームページに掲載した。

・関東支部会雑誌の投稿規程、査読規程、編集指針および見本誌をホームページに掲載し、電子発刊の準備を進めたが、これまでのところ投稿はなかった。

##### ○2004 年度活動予定

・ホームページ運営および関東支部ニュースレター発行

・関東支部会雑誌の電子発刊準備（分科会プロジェクトの成果発表等）

#### 3. 庶務担当委員報告

- ・桑庶務担当委員より平成 15 年度第 2 回ならびに平成 16 年度第 1 回日本臨床化学会理事会報告がなされた（別紙理事会資料を参照）。

- ・戸谷庶務担当委員より日本臨床化学会誌の歴史編纂を予定しているので原稿を募集する旨の発言があった。平成 16 年度（2004 稔）秋の関東支部例会長に美崎英生幹事（株）カイノスの推薦があった。また須藤幹事より平成 17 年度（2005 年）春の関東支部総会長に東京医科歯科大学の芝紀代子監事の推薦があった。両氏の意向を聞いたうえで委嘱を検討することとなった。

#### 4. 平成 15 年度会計報告

- ・事務局（渭原）より平成 15 年度の決算報告があり，中山監事より監査結果の報告がなされ，決算報告が承認された。

#### 5. 平成 16 年度予算案報告

- ・事務局（渭原）より平成 16 年度の予算案報告があり承認された。

#### 6. その他

- ・橋詰支部長より時期役員の選挙に当たり，選挙管理会の発足と管理委員を決めたい旨の提案があった。

以上

議事録作成（渭原博）

## 平成 15 年度第 2 回 日本臨床化学会理事会報告

日 時：平成 15 年 10 月 28 日（火）11：00-14：00

場 所：広島国際会議場 コスモス 2

### 1. 報告事項

#### (1) 常置委員会および各支部よりの報告

1) 各常置委員会委員長より報告が行われた。主な内容は以下のとおり。

(編集委員会－後藤委員長)

順調に運営されており『臨床化学』32 巻 4 号は来年早々発行とする予定。

(国際交流委員会－伊藤委員長)

APFCB、IFCC、EuroMedLab 関連について報告がなされた。

(教育委員会－猪川委員長)

同日に開催された委員会にて、委員長交代の件が承認されたことが、報告された。

(集会委員会－小川委員長)

同日に開催された委員会にて、平成 17 年度の年会長を集会委員会として推薦し、夏期セミナー実行委員長を報告することが、述べられた。

(学術連絡委員会－登委員長)

同日に行われた同委員会にて新規プロジェクトが提案され、諒承された旨報告された。

2) 各支部からの報告

資料に基づいて各支部長あるいは代理の出席者より報告が行われた。特に関東支部では支部のあり方について諸方面からの検討がなされており、その報告書が提出された。

#### (2) 平成 14 年度認定臨床化学者

猪川教育委員会委員長より本年度は 14 名が認定臨床化学者に認定され、総会にて発表される旨の報告がなされた。

#### (3) 学会賞の件

第 43 回年会長の猪川学会賞選考委員会委員長より本年度受賞者 4 名の、授賞式、授賞講演が明日開催されることが報告された。

学会賞 松下 誠 (埼玉県立大学・短期大学部衛生技術学科)

血清アルカリ性ホスファターゼ活性と血液型との関係

奨励賞 和田 結 (九州大学医学部附属病院検査部)

血液凝固検査における生理的変動幅の推定

奨励賞 小谷和彦 (鳥取大学医学部臨床検査医学)

高齢者本態性高血圧症とミトコンドリア遺伝子多型の関連解析

奨励賞 石本 学 (鳥取大学医学部附属病院検査部)

看護職員におけるラテックスアレルギーの追跡検討－3 年間隔での連続検討－

#### (4) 平成 15 年度年会の件

第 43 回年会長より、日本臨床検査医学会との合同大会開催にあたってのお礼が述べられた。

#### (5) 第 4 回賛助会員懇話会-賛助会員アンケート報告の件

三浦賛助会員世話人代表より、添付の賛助会員アンケートの説明がおこなわれた。明日開催の賛助会員懇話会の議事録とアンケート結果を学会だより、に掲載することが報告された。

#### (6) 事務局移転の件

平成 16 年 4 月より事務局が日本学会事務センター大阪事務所より同東京本部に移管することが再度確認された。学会誌ならびにホームページにて掲載することが報告された。

#### (7) 共催・協賛の件

他学会・組織よりの共催、協賛依頼に関し、報告がなされ了承された

#### (8) JIS 自己血糖検査機器 (仮称) 原案作成委員会の件

日本分析機器工業会医療機器委員会にて、自己検査用グルコース測定器の審査ガイドライン策定作業

として、当該委員会を設けることとなった。桑 克彦氏に委嘱がきておりこれを諒承した旨の報告が行われた。

## 2. 審議事項

### (1) 監査報告

岡部監事より、平成 14 年度における収支決算、学会財産および業務処理状況についていずれも正当に執行されているとの報告がなされ、了承された。

### (2) 平成 14 年度中間決算報告承認の件

神辺会計理事より、平成 15 年 4 月 1 日から 9 月 31 日までの中間決算が報告され、了承された。

### (3) 会則改定の件

会則改定案が桑庶務理事より説明され、これを諒承した。評議員会、総会にて報告承認を得ることとした。

1.有功会員会費が無料から年額 6000 円とする。2.名誉・有功会員は評議員会に出席できるが、議決権はない。3.理事の投票を 6 名連記から 4 名に変更。4.理事は 4 つの選出領域からまず上位 1 名計 4 名を選出し、その後得票順とする。5.会長選出は理事の互選により決定する。6. 専門委員会名の削除。7.旅費規程。

### (4) 平成 16 年度年会、夏期セミナーの件

小川集会委員長より平成 17 年度年会長として小野順子氏（福岡大学医学部附属病院検査部）が推薦され、了承された。

平成 17 年度夏期セミナー実行委員長として富永真琴氏（山形大学医学部臨床検査医学）が報告された。

### (5) 新規プロジェクト承認の件

学術連絡委員会にて以下 5 件の新規プロジェクトが提案された旨が報告され、了承された。

酵素専門委員会より 4 件

ALP の IFCC 法と JSCC 法の反応性および疾患特異性の比較調査（山館周恒）

血清アルブミン測定の常用基準法の確立（村本良三）

血清 CRP 標準物質の作製（藤田 孝）

血清アミラーゼの IFCC 勧告法、SOP の検証（芳賀利一）

クオリティマネジメント委員会より 1 件

臨床検査における許容誤差限界の設定（細萱茂実）

### (6) NPO 法人の件

NPO 法人のメリットが説明された。今後、NPO 法人、中間法人両方のメリット、デメリットを新たに委員会を設けて継続検討していくこととした。

### (7) 平成 15 年度予算の件

戸谷会計理事より平成 15 年度予算案について説明がなされ、了承された。

## 平成 16 年度第 1 回 日本臨床化学会理事会報告

日 時：平成 16 年 5 月 29 日（土）14：00-16：30

場 所：東京駅大丸ルビーホール

(1) 常置委員会（編集、集会、学術連絡委員会）、各支部から活動報告があった。

(2) 夏期セミナー

本年の第 23 回は鹿児島、来年の第 24 回は仙台で開催

(3) 年会

本年の第 45 回は 11/17-20 で福岡国際会議場で、第 52 回臨床検査医学会総会と合同開催

(4) 学会賞の規定

学術賞と奨励賞の規定の会員暦と年齢制限については、緩和することを前提に改正を検討する。また、現在は副賞がないので、スポンサーシップをつけるなども併せて検討する。

(5) 認定臨床化学者

更新についての規定を準備する。

- (6) 平成 15 年度予算
- (7) 委員長、支部長の交代  
教育委員会委員長は桑 克彦（筑波大学臨床医学系）  
近畿支部長は池川繁男（近畿大学薬学部）  
中国支部長は益田順一（島根大学医学部）  
四国支部長は土井俊夫（徳島大医学部）
- (8) 選挙管理委員会  
定例の選挙（役員、評議員）が 8 月に実施される。
- (9) 歴史編纂  
分析談話会も含めた JSCC の歴史について編纂する。
- (10) 法人化  
有限責任中間法人として準備をする。
- (11) 臨床検査の標準化に関連したデータベースについて準備する。

## 平成 16 年度日本臨床化学会関東支部総会議事録

日時：平成 16 年 6 月 19 日（土）14：50～15：20

場所：東京大学医学研究科教育研究棟 14 階鉄門記念講堂

### 報告・協議

#### 1. 分科会運営委員会報告

・議長（橋詰支部長）よりプロジェクト研究（ALP の IFCC 法と JSCC 法の反応性および疾患特異性の調査比較：日本大学医学部附属板橋病院検査部，山舘周恒氏）について経過説明があった。

#### 2. 編集委員会報告

・議長（橋詰支部長）より 2003 年活動報告と 2004 年活動予定について報告がなされた。

#### 3. 庶務担当委員報告

・議長（橋詰支部長）よりより平成 15 年度第 2 回ならびに平成 16 年度第 1 回日本臨床化学会理事会報告がなされた。

#### 4. 平成 15 年度会計報告

・中山監事，芝監事より監査された平成 15 年度決算について事務局より報告され承認された。

#### 5. 平成 16 年度予算案報告

・事務局より平成 16 年度の予算案報告があり承認された。

議事録作成（渭原博）